

8-49

総学庶第1631号 昭和46年10月23日

文部大臣 高見三郎 殿

日本学術会議会長 江上不二夫

(写送付先：大蔵大臣，日本私立大学協
会長，日本私立大学連盟会
長，私立大学懇話会長)

私立大学に対する国庫補助増額について（要望）

標記のことについて、本会議第59回総会の議に基づき、下記のとおり要望します。

記

本会議は、私立大学がわが国の研究・教育に果たす重大な役割にかんがみ過去幾たびかにわたり、これに対する国庫補助について政府に勧告を行なって来ました。近年その補助は、ようやく増額されつつあるとはいえ、その額はきわめて少なく、必要経費から見れば問題にならぬ比率であり、私立大学における「研究・教育の危機」はさらに深刻化しつつあります。

いうまでもなく私立大学は、その収入のほとんどを学生の負担に依存していますが（授業料・入学金・施設拡充費など）、これ以上の授業料等の値上げをもって対処することは、きわめて困難な実状にあります。

現在の状況が進行すれば、私立大学のみならずひいては国全体の学術研究・教育の停滞をもたらすばかりでなく、入学試験競争にいつそうゆがみを誘発するなど、国の教育をさらに混乱させる恐れがあります。

全国の大学生数の約80%を収容し、大学における公教育の大部分を占めている私立大学にたいし、国がその自主性を尊重しつつ適正な助成を行なうべきことは当然であります。従来の振興の概念を脱却し、さらに積極的な援助体制を確立することが急務であります。当面の措置として、ただちに現行の国庫補助を大幅に増額されることを要望します。

8-50

総学庶第1659号 昭和46年11月9日

内閣総理大臣 佐藤栄作 殿

日本学術会議会長 江上不二夫

(写送付先：科学技術庁長官，大蔵，
文部，厚生，農林およ
び通商産業各大臣)

生物活性天然物研究所（仮称）の設立について（勧告）

標記のことについて、本会議第59回総会の議に基づき、下記のとおり勧告します。

記

動植物や微生物の多種の成分が医薬や農薬として用いられ、人類社会の福祉の増進に貢献しているが、天然にはなお多数の化学的には解明されていない生物活性物質の存在が知られている。それらを実際に生体よりとり出し、研究を行なうことは、新しい医薬や農薬の開発につながる重要な基